

事務事業シート_基礎シート

①	事務事業名	老人保健施設管理事業	開始年度	H17
	事務事業通番	10	予算名	老人保健施設特別会計
	分類区分	施設管理	枝番	1
			補助/単独	単独
	事務事業の法的根拠	介護保険法・老人保健施設条例・同運営規程		
	関係する個別計画	第6期介護保険事業計画		

②	総合計画の体系(H29～R8)			
	基本構想	重点施策A 住み続けたいを守る持続可能なまちづくり		
	施策	重点施策A 3 高齢者福祉の充実		
		設定した目標	A-3 老人保健施設さやか入所率	
	主な施策	3-1 老人保健施設の充実		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)			
	基本目標	設定した目標 ー		
	施策	重要業績評価指標(KPI) ー		
	事業名			

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)			R2
	活動計画名	74	老人保健施設事業	C

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画	0.893	0.93	0.925	0.902	0.86	0.84						
	創生戦略												
	基本目標	-	-										
	施策	-	-										

⑦	決算額の推移		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費		30,729	28,081	34,494	35,317	33,953	28,706						
	財源内訳	一般財源	30,729	28,081	34,494	35,317	33,953	28,706						
		国県補助金												
		その他												
	人件費	職員数(A)			1.00	1.00	1.00	1.00						
		職員数(B)			1.00	1.00								
		職員数(C)			1.00	1.00	1.00	1.00						
		正職員以外			1800	1800	1800	1800						
		概算人件費	0	0	26,482	26,482	18,098	18,098	0	0	0	0	0	0
	総事業費		30,729	28,081	60,976	61,799	52,051	46,804	0	0	0	0	0	

⑧ 内部取扱事項

--

⑤	対象	介護老人保健施設入所・通所利用者及びその家族
	事業概要	平成10年に建築された老人保健施設北館の維持管理 事務2名、清掃臨時1名 北館施設管理、施設利用者の利用料請求と自己負担金徴収、苦情対応、施設清掃業務委託、給食業務委託、施設維持管理業務委託(エレベーター、ボイラー、消防設備等) 延床面積3,363㎡、1階個室10・多床室5、2階個室6・多床室9、合計58床、通所リハ25名
	意図	施設利用者が安心安全に利用できる施設の充実と適正な管理を行う
	事業実施の経緯・こ	当施設は、医学的管理のもとで高齢者に総合的ケアサービスを提供し、高齢者の家庭復帰を目指し心身の自立を支援するために、平成2年6月に町立千曲病院併設型として南館入所30床、通所リハビリ10人、437,000千円で佐久町八千穂村老人保健施設組合で設置され運営が始まった。その後、平成10年10月両町村とも高齢者増加により北館50床増床、通所リハビリ10人増員、1,245,000千円で設置し運営を行う。2年後の平成12年に介護保険法が施行となり、居宅介護支援事業所を併設。民間業者による高齢者福祉施設の運営が可能となり3年ごとに介護報酬単価の見直しが行われるようになった。平成17年3月町村合併に伴い、2ヶ町村組合の運営から佐久穂町の特別会計による経営となる。平成2年南館建設時の病院債年利率6.2%、230,000千円を平成23年度に繰上償還を行った。北館建設時借入、年利率1.1%の起債残高は、令和2年度末、361,155千円となっている。令和2年度から全額を一般会計繰入金とした。平成27年3月末南館閉鎖し、同年4月より北館のみにて入所58床、通所25人で運営している。

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	老人保健施設入所サービス事業	開始年度	H 17
事務事業通番	10	予算名	老人保健施設特別会計
分類区分	施設管理	枝番	2
事務事業の法的根拠	介護保険法・老人保健施設条例・同運営規程		
関係する個別計画	第6期介護保険事業計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策A 住み続けたいを守る持続可能なまちづくり
施策	重点施策A 3 高齢者福祉の充実
	設定した目標 A-3 老人保健施設さやか入所率
主な施策	3-1 老人保健施設の充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 ー
施策	重要業績評価指標(KPI) ー
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	74 老人保健施設事業 C

⑤ 対象	介護老人保健施設入所利用者及びその家族
事業概要	<p>病院で入院治療を必要とするほどでもないが自宅へ帰るのはまだ不安があるといった方などが、医療的管理のもとで看護、介護、リハビリテーション等を受けながら、自宅復帰を目指す。</p> <p>職員数:看護11、介護25、PT2、臨時PT1、支援専門員1、相談員1 R1利用実績:長期入所 日/38.6人 R2 日/37.5人 HR1利用実績:短期入所 日/11.3人 R2 日/10.8人 長期入所 R2:延13.691人、収入174,527千円、1日1人/12,748円 短期入所 R2:延3.931人、収入55,524千円、1日1人/13,125円</p>
意図	看護、医学的管理の下に介護及び機能訓練、その他必要な医療並びに日常生活向上のお世話を行う。
事業実施の経緯・これまで	<p>介護保険法に基づき、3年ごとに介護報酬単価の見直しが行われる。平成24年度の改定率は、1.2%(在宅1.0%、施設0.2%)。平成27年度の改定率は、-2.27%(在宅-1.42%、施設-0.85%)。平成30年度の改定率は、0.54%(在宅と施設サービスの内訳は不明)。</p> <p>町の介護・福祉政策にある施設であり、介護保険サービスの中核をなす事業を展開しており、町関係機関とも連携し運営している。医療と介護の両面の機能をもつ施設で、介護が必要となった場合でも、住みなれた町で安心して暮らしていける事と、家族の介護負担を軽減するために運営している。平成26年度に南館を廃止及び北館8床の増床を行い、入所定員80名から58名で運営を開始。</p>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	0.893	0.93	0.925	0.902	0.86	0.84						
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	99,117	100,570	97,418	99,505	100,342	103,336						
財源内訳												
一般財源	99,117	100,570	97,418	99,505	100,342	103,336						
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)			2.00	3.00	3.00	2.00						
職員数(C)			20.00	17.00	18.80	19.00						
正職員以外			32000	30500	29430	31100						
概算人件費	0	0	175,628	164,011	173,726	168,497	0	0	0	0	0	0
総事業費	99,117	100,570	273,046	263,516	274,068	271,833	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

--

事務事業シート_基礎シート

① 事務事業名	老人保健施設通所サービス事業	開始年度	H17
事務事業通番	10	予算名	老人保健施設特別会計
分類区分	施設管理	枝番	3
事務事業の法的根拠	介護保険法・老人保健施設条例・同運営規程		
関係する個別計画	第6期介護保険事業計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策A 住み続けたいを守る持続可能なまちづくり
施策	重点施策A 3 高齢者福祉の充実
	設定した目標 A-3 老人保健施設さやか入所率
主な施策	3-1 老人保健施設の充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 ー
施策	重要業績評価指標(KPI) ー
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	74 老人保健施設事業 C

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	0.893	0.93	0.95									
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費												
財源内訳												
一般財源												
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)												
正職員以外												
概算人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総事業費	#VALUE!	#VALUE!	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項

⑤ 対象	介護老人保健施設通所利用者及びその家族、訪問リハビリ希望者
事業概要	日帰りで、健康チェックや理学療法士によるリハビリテーションを提供。介護員による入浴・食事などの介助や集団リハなどの介護サービスの提供(予防含む) 平成25年度から定員25名 土、日、年末年始(12/29~1/3)を除く256日(祝日含む) 訪問リハビリテーションの提供(未実施)
利用状況	通所リハR2: 4,359人、収入47,298千円、1日/17人・10,851円
意図	心身機能の回復及び生活機能の維持・向上を図り、居宅において自立した日常生活が送れるよう支援するため
事業実施の背景・これまで経過	通所リハビリテーション事業は、平成2年から南館を利用し通所定員10名で実施していたが、人口構成の高齢化と共に利用希望者が増加し、平成10年の北館建設に伴い利用定員を20名とした。途中の平成20年頃に社協、老健等の通所定員の増について協議されるも、宅老所等の利用により定数継続。平成25年4月から利用定員を25名とする。 在宅中心とした介護サービスの充実が図られることが考えられることから、訪問リハビリテーションのサービス提供の許可を受けた。